

情報産業労働組合連合会
中央執行委員長 野田三七生様

2018年1月10日

横浜失語症者のコミュニケーションを支援する会

会長 松元瑞枝

失語症講座担当責任者 金場理恵 (NTT 東日本関東病院)

このたびは「情報労連 愛の基金」による3年目の事業助成を決定していただきまして、誠にありがとうございました。組合員の皆様の貴重な浄財であることを肝に銘じて、大切に使用させていただきます。

横浜失語症者のコミュニケーションを支援する会 <http://shitsugosho.jimdo.com/>は、言語聴覚士の有志で構成している市民団体です。失語症の人にとってより生活しやすい社会になるように、失語症の人のコミュニケーションのバリアフリーを目指しています。この目的のために「言語聴覚士による失語症講座」や失語症者のコミュニケーションの場の提供・支援、その他この会の目的を達成するために必要な事業を行っております。

失語症の人は言葉が不自由なために、日常生活で様々な問題に直面します。全国の介護保険関連施設で30万人に達すると言われていますが、コミュニケーション支援は介護保険サービスに組み込まれておらず、適切な支援を得られずに孤立したり病院や役所での必要な手続きができなかったりしています。また、言語障害のために自ら主張することが困難です。しかし、会話の相手や地域の人失語症について正しい知識を持って適切な援助を提供すれば、失語症の人も思いを伝えあって生き生きと生活できます。

そこで本会は失語症の方を支援できる人を育てる為に、今年度も2017年10月28日に「言語聴覚士による失語症講座」を実施しました。広報に努めたにも関わらず、今年受講者が10人でしたので、赤字開催となり、この「情報労連 愛の基金」に助けられますことを感謝申し上げます。失語症当事者にも参加して頂き、失語症についての正しい知識と適切なコミュニケーション技術を学んでいただきました。

また、本会は毎月1回の失語症サロンを開催しました（名称：桜木町お話会、日時：第3日曜午後）。失語症の方々が言語聴覚士の支援を受けながらお互いに意思疎通を楽しむ会です。日頃はコミュニケーションに困難を感じることの多い失語症の方達が、毎回和やかに交流されて、コミュニケーションの喜びを共有しています。

今後も頂戴した助成金を大切に使用して頂きまして、失語症の人への理解と支援が促進されるような事業を継続していきます。

最後になりましたが、貴団体の益々のご発展をお祈りしまして、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

